

タデ科 ギンギン属

スイバ (酸い葉)

Rumex acetosa L.

自生環境

野原、堤防 など

原産地

日本在来

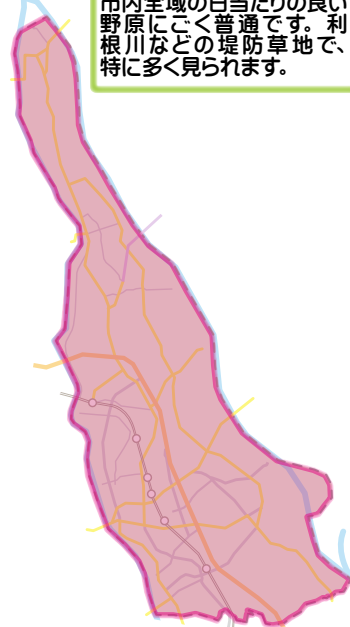
生育を脅かす要因

(今のところ特になし)

身近な場所にごく普通で、今のところ絶滅の心配はありません。しかし目の敵にしすぎるのは考えもの。地域に咲く野の花として、やさしく見守る気持ちを大切にしたいところです。

市内の分布状況

市内全域の日当たりの良い野原にごく普通です。利根川などの堤防草地で、特に多く見られます。



特徴

- ☆ 日当たりの良い草地環境を好み、市内では堤防斜面に特に多く見ることができます。雌雄別株の多年草です。
- ☆ 葉の根もととは矢じり形になっています。色は緑色ですが、寒さなどの影響で赤みがかった色になることもしばしばです。葉にはシュウ酸が含まれ、かじると酸っぱい味がします。ペニシジミという蝶の食草になっているため、スイバの多い場所ではたくさんペニシジミを見ることができます。
- ☆ 春に茎をのばし、花の穂をつけます。花期の茎のかたさは 1m 近くに達することもあります。雌株の花穂はやがて果実の穂に変化します。果実は熟すと赤みを帯びていっそう目立つようになります。

海外では野菜

スイバの葉はかじるとさわやかな酸味があり、日本でも山菜として摘んで利用することがあります。ヨーロッパでは、「ガーデン・ソレル」や「オゼイユ」などと呼ばれ、ハーブや野菜として広く栽培されています。サラダやソース、肉・魚料理などに利用できますが、ホウレンソウと同様にシュウ酸を含むため、下ごしらえが必要です。また、一度に大量に食べないようにしてください。

雄株



花びらは
6枚

雌株



雌しべは
赤色で、
ポンポン
のようにつく



雌株は、
ぎっしりと
果実がつく

3枚の花びらが
大きくなり
タネを包む

わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

